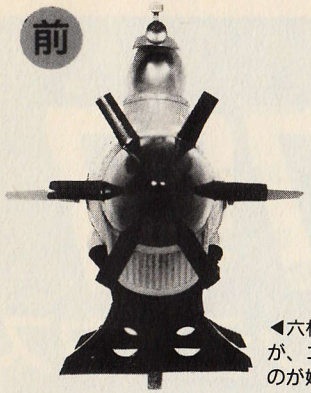
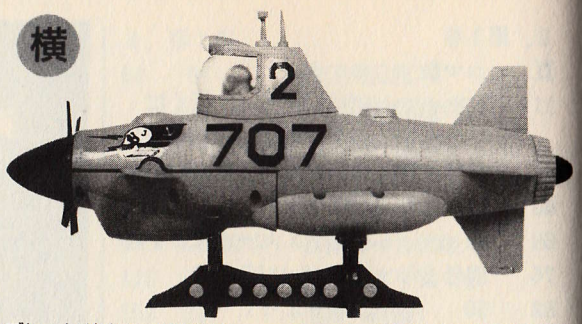
前



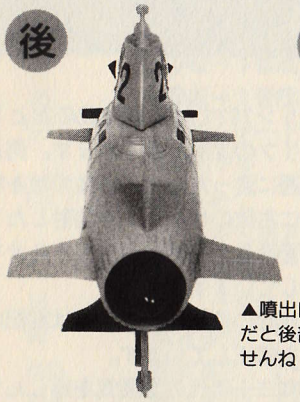
横



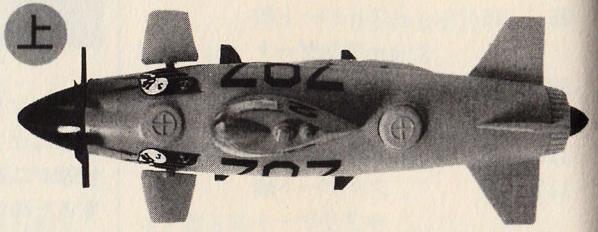
◀六枚ブレードが迫力。回転方向が、ゴム動力ジュニアと同方向なのが嬉しい

▲見よ、このカッコ良さ／今でも手に入れたいオジサンは日本中にいるのだ

後



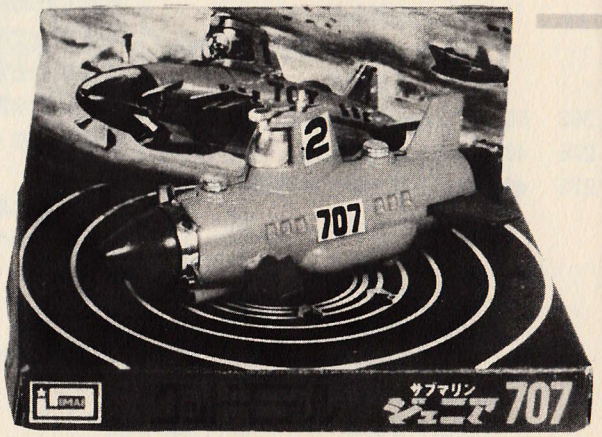
上



▲噴出口が電池カバーです。これだと後部視界は、ほとんどありませんね

▲セイル後方のハッチがスイッチです。内部構造は秘密のベールに包まれています

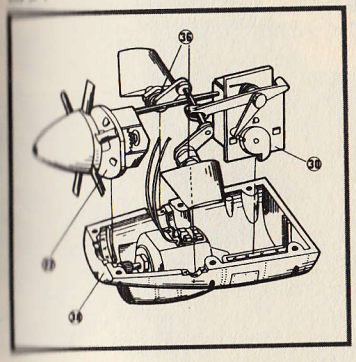
お☆ま☆け



イマイのグッドモデルとして発売されたジュニアは、亜鉛合金製のリアルなもの。

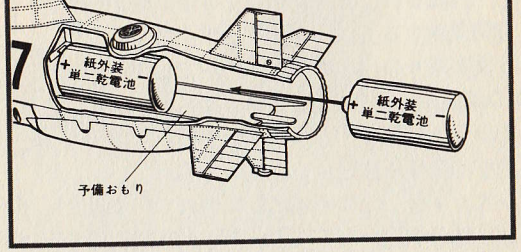
707プラモにはいっている、おまけよりは大きいのですが、A級ジュニアの約半分のサイズでした

○駆動メカニズム○
ギヤーボックスを通して、スクリューが回り、カムにより潜航舵が動く最新メカ

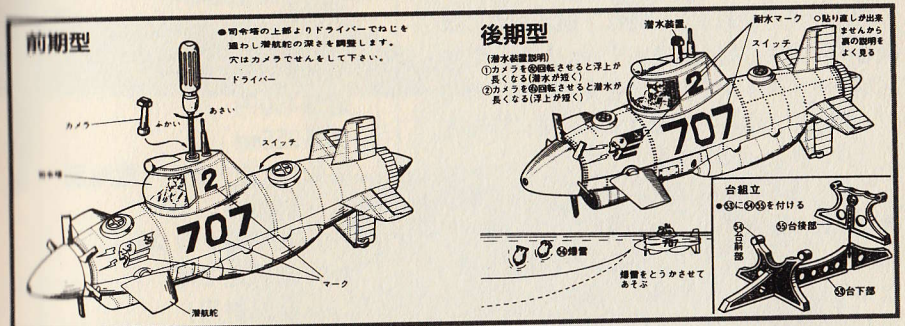


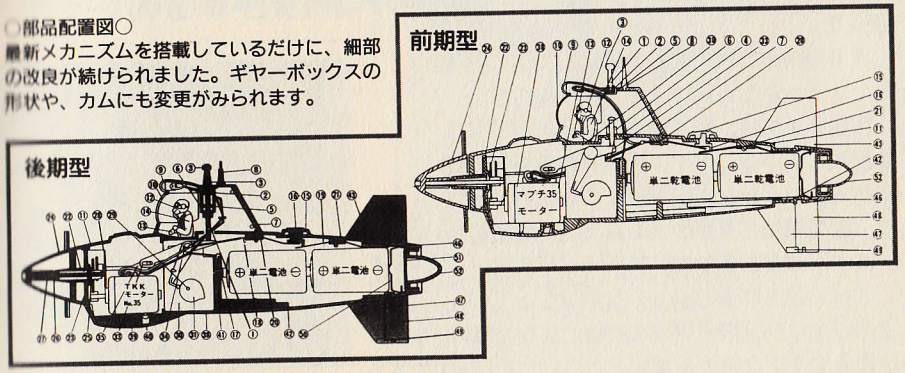
おもりと紙外装乾電池の位置

（参考）◇金属外装乾電池とはナショナルハイトップの様に外部が金属でつつまれている乾電池。
◇紙外装乾電池とは一般に使用されている乾電池で外部が紙でつつまれている乾電池。



○初期型の予備おもりの説明○
軽い紙外装電池を使う場合は、予備おもりが必要だったのです。（歴史を感じます）



○調整ネジの改良○　初期には潜望鏡を外して、ネジを回したのですが、後期になると潜望鏡を回すだけで潜航周期の調整ができました。

○部品配置図○
最新メカニズムを搭載しているだけに、細部の改良が続けられました。ギヤーボックスの形状や、カムにも変更がみられます。